

令和7年度 八幡浜市立八幡浜中学校 学校評価表

* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。
 * 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和7年度（前期）項目	R7前期 肯定率	R7 前期 1年	R7 前期 2年	R7 前期 3年	R7前期 平均	R7 前期 1年	R7 前期 2年	R7 前期 3年	分析と対応	
1	生徒	学校生活が楽しく、充実していると思う。	94%	96%	92%	96%	3.5	3.8	3.4	3.5	○市が実施した満足度アンケートでも同じような結果が見られる。 ○生徒・保護者ともに高い評価を得ているが、「楽しくない」と感じる生徒への日々の声掛けや相談支援を今後も丁寧に行っていきたい。 ○3年生は、最高学年としての大変さや進路等の悩みを抱えつつも、前向きに取り組むことができている。1年生は、中学校の決まりや生活のリズムに慣れ、欠席も少なく、元気に登校することができている。2年生は、否定的な生徒が1割弱いることから、普段の日記指導、会話・教育相談での指導・支援をしていく必要がある。 ○ICTを活用したアンケートを、生徒は2か月に一度、保護者は学期に一度実施している。気になる回答や事例があった場合には速やかに事実確認を行い、学年会や生徒指導部会で共有し、いじめ等の早期解決に努めている。 ○統合により、人間関係に不安を抱える生徒も見られる。1学級が40人程度となり、教員の支援が十分に行き届かないという意見もある。教職員間で情報共有を密にし、生徒の承認を意識したり、言動の変化に気付いたりできるよう努めていく。 ○総合的な学習の時間では、自己理解や他者理解を深める活動を計画的に行い、人間関係づくりに取り組んできた。生徒からも肯定的な感想が得られている。今後もあらゆる教育活動において、生徒の取組を認め合える場をつくる必要がある。 ○生徒の評価は高かったが、保護者の評価はやや低い結果となった。 ○1学期には生活委員会を中心に、挨拶に関する集会を実施し、挨拶の現状とその意義について話し合った。意識も高まり、気持ちの良い挨拶ができる生徒が増えたが、時間の経過とともに徐々に意識が低下してきている。「相手に伝わる声」「相手の目を見る」「先取り挨拶」といった基本的な姿勢を、学校だけでなく地域でも広げていけるよう、今後も生活委員会を中心に取組を継続する。 ○地域の教育力という視点からも、保護者の協力は欠かせない。登下校の際など、八中生への声掛けや挨拶を積極的に行っていたらとありがたい。 ○保護者の評価が低く、交通ルールやマナーについて保護者からの指摘が散見された。特に、自転車の利用については粘り強く指導していく必要がある。校区は道幅が狭い箇所が多く、自動車の交通量も多いことから、現地で交通指導をする必要がある。しかし、教職員の数が限られているため、地域や保護者の協力をいただきたい。また、時間帯指定の道路を設定したり、それを遵守させたりするなど、関係諸機関の協力も仰ぎたい。 ○交通渋滞に関する意見も地域から寄せられている。これまでに通学路の追加や学年単位での時差下校などの対応を行い、渋滞の緩和を図ってきた。今後も危険箇所の周知とあわせて安全確保に取り組んでいく。 ○保護者・生徒ともに評価が低く、課題が残る結果となった。 ○人権感覚や相手を尊重する態度の育成は、引き続き重要な課題であると捉えている。今後も、相手の立場に立って言動を考えることの大切さを、学級や部活動を通して粘り強く指導していく必要がある。特に、仲間を傷つけてしまった場面では、教職員がすべてを解決するのではなく、生徒自身が当事者意識を持ち、自ら関係修復に向けて考え、行動できるよう支援していきたい。こうした経験を通して、学校での失敗が生徒の成長へとつながることを期待している。 ○また、教職員自身の人権感覚を高めることも不可欠である。日常の対話や研修を通じて態度を磨きつつ、生徒指導や人権・同和教育に積極的に取り組み、多様性を受け入れ、他者を尊重できる生徒の育成を目指す。 ○本校が重視する「共に輝け！八中生！（自ら考え、判断し、行動できる自律した八中生）」に関する項目であり、生徒・保護者ともに8割超の肯定的評価を得ている。しかし、実際には、学習や日々の学校生活において指示待ちの生徒が多く、当事者意識や主体性の向上に課題が残る。今後は、日々の学習活動はもちろん、学校行事や生徒会活動などを通じて、自律を育む支援を全教職員で意識したい。 ○今年度は、生徒会活動を中心に自律を育むことを重視し、集会活動や運動会・文化祭など生徒の主体性を大切に取組を始めている。生徒にとっても教職員にとっても手探りではあるものの、トライ＆エラーをしながら共に成長していきたいと考えている。今後は、生徒会本部役員が自らの言葉で全体に働き掛け、学校全体を動かすようなリーダーシップの育成も目指したい。 ○保護者の評価が低い結果となった。 ○学校で行っているキャリア教育の取組内容や生徒の成長の様子をご家庭に伝えるよう、学年通信や学校だより、懇談や参観日等を通じた情報発信をより意識しながら、生徒のより良い成長を学校と家庭で連携しながら見守り、育成する必要がある。 ○この項目については、夢や希望を語り、楽しく働いたり、生き生きと活動したりする大人（教師・保護者・地域ともに）が重要であると考えている。学校では教師がよきロールモデルとなることを大切にしたい。 ○より良い清掃活動について考えたり、清掃方法を具体的に指導したりするなど、今後も環境委員会の取組や清掃場所の担当者による指導・支援を行い、心も磨く清掃活動の充実を目指したい。 ○一定の肯定的な回答が見られた。2学期は学習に加え、運動会や文化祭、新人戦など挑戦の機会が多くある。こうした場面での小さな成功体験を積み重ね、自己肯定感を高められるよう、教職員一丸となって支援していきたい。	
		保護者	お子さんは、元気に楽しそうに学校へ通っている。	92%	93%	90%	93%	3.4	3.5	3.3		3.4
	2	教師	あなたは、生徒が互いのよさを認め合い、安心して自分らしく過ごせる居心地のよい学校づくりに努めている。	96%				3.4				
		生徒	学校は、互いのよさを認め合い、安心して自分らしく過ごせるような雰囲気がある。	92%	95%	91%	88%	3.4	3.6	3.3		3.3
	3	保護者	学校は、生徒一人一人が互いのよさを認め合い、安心して自分らしく過ごせる学校づくりになっている。	89%	89%	85%	94%	3.1	3.1	3.1		3.2
		教師	あなたは、時と場に応じた爽やかな挨拶や会釈ができる生徒の育成に努めている。	100%				3.4				
		生徒	あなたは、学校や地域で、時と場に応じた爽やかな挨拶や会釈を心掛けている。	92%	87%	94%	93%	3.4	3.5	3.4		3.4
	4	保護者	八中生は、時と場合に応じた爽やかな挨拶や会釈ができている。	80%	84%	79%	78%	2.9	2.9	2.9		2.9
		教師	あなたは、生徒の安全指導に努めている。（交通ルールやマナー、保健指導）	100%				3.6				
		生徒	あなたは、登下校や自転車に乗るとき、交通ルールを守り、安全に気を付けている。	98%	93%	97%	100%	3.7	3.7	3.7		3.8
	5	保護者	八中生は、交通ルールやマナーが守れている。	75%	76%	69%	82%	2.8	2.9	2.7		2.9
		教師	あなたは、生徒の人権感覚を高め、差別解消への実践力を育てることに努めている。	96%				3.5				
生徒		今学期、あなたは、周りの友達から嫌なことを言われたり、されたりしていない。	70%	72%	66%	69%	3.1	3.3	3.0	3.0		
2	保護者	今学期、お子さんは周りの友達から嫌なことを言われたり、されたりしていない。	65%	68%	69%	55%	2.9	2.9	2.9	2.7		
	6	教師	あなたは、自分の生活や行動を自分で考え、判断して行動し、よりよい自分を目指す生徒の育成に努めている。	100%				3.5				
		生徒	あなたは、自分の生活や行動について、自分で考え、判断して行動し、よりよい自分を目指している。	92%	88%	92%	93%	3.4	3.5	3.4	3.4	
		保護者	お子さんは、自分の生活や行動について、自分で考え、判断して行動し、よりよい自分を目指している。	81%	81%	81%	82%	3.0	3.0	3.0	3.0	
	7	教師	あなたは、自主的で当事者意識を持った学級活動や学校行事・生徒会活動を推進している。	95%				3.3				
		生徒	あなたは、集団の一員として、学級活動や学校行事・生徒会活動に積極的に取り組んでいる。	83%	83%	78%	87%	3.3	3.3	3.2	3.4	
		保護者	お子さんは、集団の一員として、学級活動や学校行事・生徒会活動に積極的に取り組んでいる。	83%	79%	84%	86%	3.1	3.1	3.1	3.3	
	8	教師	あなたは、キャリア教育を推進し、夢と希望を持ち、目標に向けてチャレンジする生徒の育成に努めている。	96%				3.3				
		生徒	あなたは、将来の夢や希望を持ち、目標に向けて挑戦している。	83%	77%	85%	84%	3.3	3.2	3.3	3.3	
		保護者	お子さんは、将来の夢や希望を持ち、目標に向けて挑戦している。	68%	65%	65%	77%	2.8	2.7	2.8	3.0	
	9	教師	あなたは、仲間と協力したり、自分で考えたりして、清掃活動に取り組めるよう支援している。	91%				3.3				
		生徒	あなたは、仲間と協力したり、自分で考えたりして、黙々と清掃活動に取り組んでいる。	81%	82%	79%	79%	3.2	3.4	3.1	3.2	
10	教師	あなたは、生徒が失敗を前向きに捉え、次に生かせるような声掛けや支援を行っている。	100%				3.6					
	生徒	あなたは、努力すれば、できるようになることがあると感じている。	90%	84%	94%	88%	3.5	3.4	3.6	3.4		
	保護者	お子さんは、努力すれば、できるようになることを実感することがあった。	82%	84%	79%	84%	3.1	3.1	3.0	3.1		

令和7年度 八幡浜市立八幡浜中学校 学校評価表

* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。
 * 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和7年度（前期）項目	R7前期 肯定率	R7	R7	R7	R7前期 平均	R7	R7	R7	分析と対応
				前期 1年	前期 2年	前期 3年		前期 1年	前期 2年	前期 3年	
3 個に応じた指導の充実	教師	あなたは、基礎・基本の徹底と、分かる授業の実践に努めている。	100%				3.6				○保護者の評価が低い結果となった。 ○引き続き「分かる授業の実践」と「生徒の主体性を重視した授業展開」に努めたい。 ○多様化する生徒の実態を踏まえて、特別支援教育の視点を取り入れた授業改善に関する研修も併せて行っている。こうした工夫は、結果としてすべての生徒にとって「学びやすく、取り組みやすい授業」につながっていくと考えています。
	生徒	あなたは、授業の内容が分かり、基礎的・基本的なことが理解できている。	84%	93%	82%	76%	3.3	3.5	3.2	3.1	
	保護者	お子さんは、授業を通して基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。	66%	74%	64%	61%	2.8	2.9	2.7	2.8	
	教師	あなたは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫した自主学習に取り組んだりしている。	96%				3.1				○保護者の評価が低い結果となった。 ○生徒の学習改善に向けて、授業改善や個に応じた指導や支援を行う。 ○家庭学習として取り組んでいる自主学習ノートについては、学年や個によって取り組みが様々である。生徒の実態に合わせた家庭学習の在り方について教職員はもちろん、学習委員会でも検討したい。また、各家庭での話し合いや声掛けもお願いしたい。
	生徒	あなたは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫した家庭学習に取り組んだりしている。	80%	85%	77%	76%	3.2	3.3	3.1	3.1	
	保護者	お子さんは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫した家庭学習に取り組んだりしている。	63%	69%	56%	67%	2.7	2.8	2.6	2.8	
	教師	あなたは、ICTを授業で積極的に活用し、主体的・対話的・深い学びの実践を目指している。	88%				3.1				○授業の中で、議論したり、競い合ったりして、お互いに高め合うために必要な風土づくりに努めたい。コミュニケーションを高める手段の一つとして、2学期以降は問答ゲームの実施や合意形成を目指した集会・学級活動を大切に、仲間づくりやコミュニケーション能力の育成に努めたい。
	生徒	あなたは、授業で自分の考えを持ち、友達との話し合いを通して、考えを深めたり、伝えたりすることができている。	88%	86%	87%	91%	3.4	3.4	3.3	3.4	
	教師	あなたは、生徒一人一人を理解し、困ったときに相談できる関係づくりに努めている。	100%				3.4				○保護者の評価が低い結果となった。 ○統合に伴い学級の生徒数が増えたこともあり、生徒一人一人への関わりが行き届きにくくなっている面があると考えられる。今後は、日常的な声掛けや学年内の情報共有を通じて、「相談しやすい」と感じられる関係性づくりを進めるとともに、保護者にも学校での様子を積極的に発信し、安心感につなげていきたい。 ○安心して相談をされるような教職員となるよう、日々の人間関係作りに注力する必要がある。また、生徒が「相談してよかった」と思えるよう、教職員のカウンセリング力を向上させるような研修も計画したい。
生徒	あなたの話を聞いてくれて、困ったときに相談できる先生がいる。	86%	86%	81%	87%	3.3	3.5	3.2	3.4		
保護者	お子さんの話をよく聞き、困ったときに相談できるような先生がいる。	79%	76%	76%	86%	3.0	3.0	3.0	3.1		
4 家庭・地域との連携・協働	教師	あなたは、来客・電話対応を丁寧にし、保護者や地域の方との対話を大切にする一方で、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めている。	100%				3.4				○今後も、保護者の声に丁寧に耳を傾けながら、相談しやすく来校しやすい、開かれた学校づくりに努めたい。
	保護者	学校は、保護者や地域の方が来校しやすく相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めている。	87%	86%	88%	85%	3.1	3.2	3.1	3.1	
	教師	あなたは、家庭と連携して積極的な生徒指導（支援）に努め、保護者の学校生活に対する不安の軽減を図っている。	96%				3.4				○トラブルに関しては、生徒に当事者意識を持たせる指導を大切に、家庭と連携しながら、丁寧に迅速な対応を心掛けている。一方で、トラブルがあった際、家庭連絡の不備や十分な説明ができていない事案も見受けられた。今後も学年部を中心に家庭と連携しながらより良い生徒指導（支援）の在り方を模索したい。
	保護者	学校は、家庭と連携して生徒指導（支援）に積極的に取り組み、保護者の学校生活に対する不安を和らげるよう努めている。	88%	84%	90%	89%	3.1	3.1	3.1	3.2	
	教師	あなたは、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭・地域に知らせるよう努めている。	82%				3.0				○ホームページについては、個人情報保護の観点意識の上で、保護者や地域に向け、こまめな情報発信を心掛け、学校教育活動への理解と協力を今後も引き続きお願いする。八中だよりや学年・学級通信も活用して学校の様子を積極的に発信していきたい。
	保護者	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	95%	98%	93%	96%	3.4	3.5	3.3	3.5	
5 教職員について	教師	あなたは、思いやりの心を育む道徳教育を推進している。	100%				3.6				○引き続き充実した道徳教育の実践に努めたい。
	教師	あなたは、特別支援学級と通常学級との交流が効果的に図れるよう、場の設定や活動の工夫に努めている。	95%				3.3				○支援の必要な生徒の指導・支援をより充実させるためにも、個々の生徒の情報を教科担当や学年部でしっかり共通理解していく必要がある。これは、通常学級の生徒への支援にもつながると考えている。
	教師	あなたは、豊かな専門性を身に付けるために、校内研修や自主研修に積極的に参加している。	88%				3.2				○年度初めに教職員対象に研修内容について希望調査を実施し、それに基づいて研修を計画、実施している。
	教師	あなたは、仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が長時間にならないよう意識改革に努めている。	80%				3.1				○統合初年度でもあり、業務の効率化を意識しながら先生方の業務量も超過勤務の時間も他校と比較して増加している。業務や行事の精選等を意識しながら働き方改革を進めたい。